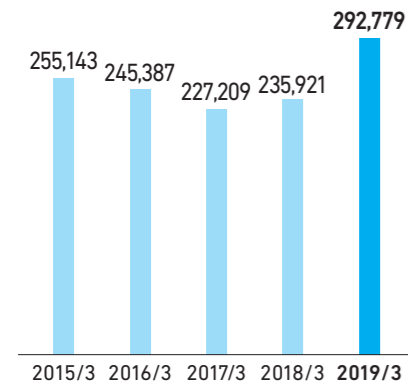
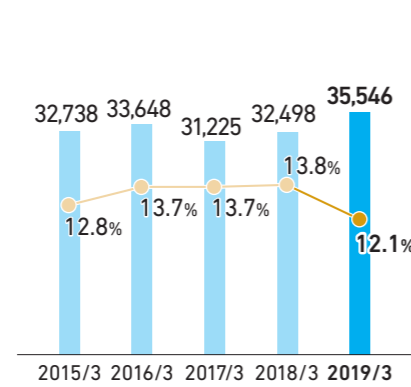


# 当期業績概況 財務ハイライト

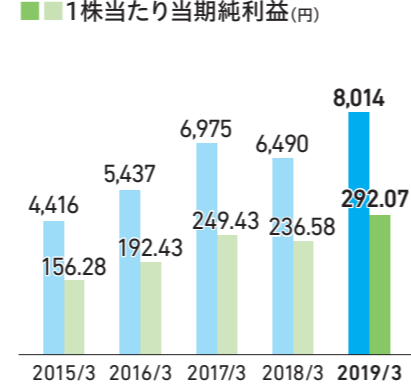
■売上高(百万円)



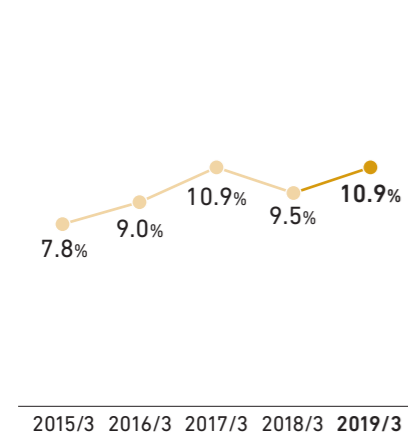
■売上総利益(百万円)  
●売上総利益率



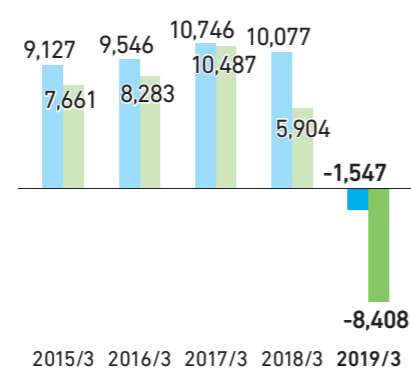
■親会社株主に帰属する  
当期純利益(百万円)  
■1株当たり当期純利益(円)



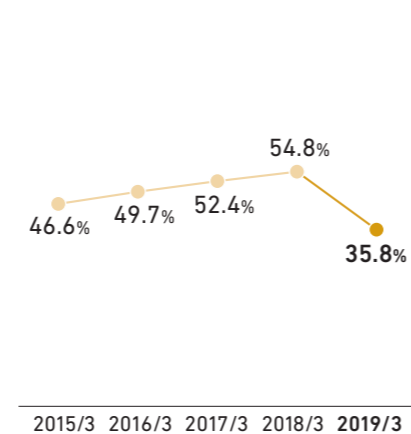
●自己資本利益率(ROE)



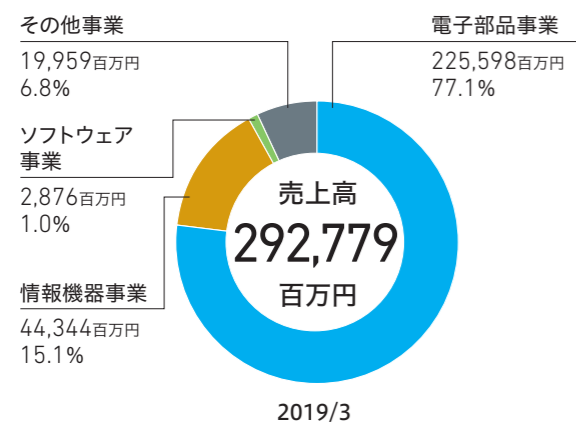
■営業活動における  
キャッシュ・フロー(百万円)  
■フリー・キャッシュ・フロー(百万円)



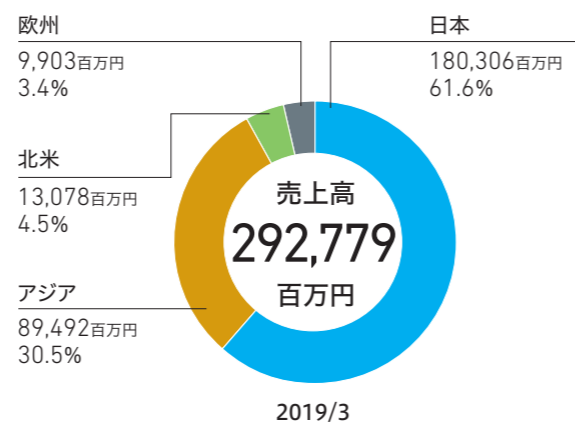
●自己資本比率



<セグメント別売上高と構成比>



<地域別売上高と構成比>



# 事業トピックス

## EMSビジネス強化に向けた取り組み

エレクトロニクス製品の開発・製造・販売から修理・リユース・リサイクルまでを手がける当社グループ会社の加賀マイクロソリューション(株)では、福島県須賀川市に新工場が完成、10月から稼働を開始します。新工場には2018年に閉鎖した飯田事業所(長野県)の製造機能と、山形事業所(山形県)の一部機能を移管し、国内生産機能の強化を図ります。

また当社は、10月1日付でパイオニア(株)の製造子会社である十和田パイオニア(株)の株式を取得し、当社のグループ会社とします。とりわけ、当社グループが事業拡大を進める「車載」「医療」の成長領域において同社が持つ豊富な生産実績、生産設備設計・治具製作、品質保証体系など有形無形のリソースを共有できることはEMSビジネスの成長に大きく寄与すると見込んでいます。

これら2拠点をEMSビジネスにおけるマザー工場と位置づけ、中国やタイなど当社グループの他の海外拠点との連携を深めることで、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を目指します。

一方、海外では、当社の既存顧客からの増産要望ならびに新規顧客からの受注に対応して、アセアン地域でのEMS生産能力増強を図るため、タイ第2工場の建設に着手しました。長期化が懸念される米中貿易問題の影響を回避した中国から周辺国への生産移管の動きも視野に入れた取り組みです。他の拠点でもこうしたニーズに応えられるよう、受け入れの準備を進めています。

このように、国内外でEMSビジネス強化に向けてさまざまな取り組みを実施しています。



福島工場完成予想図

## 50周年記念事業で新規ベンチャー企業に投資

当社は、2018年に創立50周年を記念した「50億円ファンド」を設立し、ユニークな技術・製品やビジネスモデルを構想・展開するベンチャー企業への出資を通じて、将来の当社グループの成長を支える新規事業の創出を図っています。その一つとして、2019年2月にスペースリンク株式会社へ出資しました。同社は宇宙技術開発のノウハウをベースに「次世代蓄電デバイス」および「高精度測位システム」の開発を手がける企業です。今回の出資は、同社が開発を進める、急速・大容量充電が可能なエネルギーデバイス「グリーンキャパシタ™」の量産開発を加速させることを目的としています。製品化が実現すれば、当社の販売ネットワークを通じて、モバイル端末やウェアラブル端末等の民生機器、ロ

ボットやドローンなどの産業機器、そしてEV(電気自動車)まで幅広い分野に活用できる製品として販売活動を展開する計画です。



グリーンキャパシタ™

# セグメント別概況

## 電子部品事業

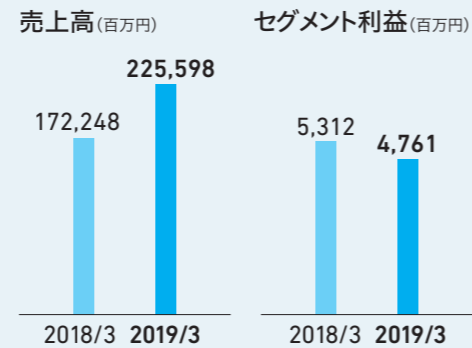
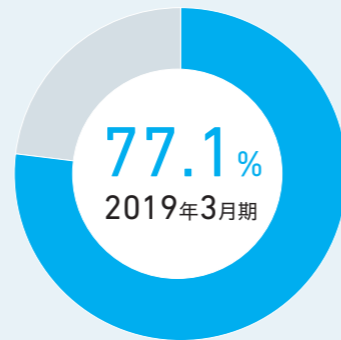


**事業内容**

半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など

**2019年3月期概況**

電子部品事業は、EMSビジネスが順調に推移、部品販売ビジネスでは富士通エレクトロニクスが当社連結に加わりました。これらの結果、売上高は225,598百万円(前期比31.0%増)、セグメント利益は4,761百万円(同10.4%減)となりました。



## ソフトウェア事業

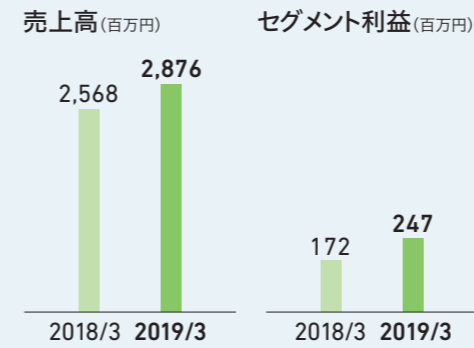


**事業内容**

CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など

**2019年3月期概況**

ソフトウェア事業は、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などが堅調に推移しました。これらの結果、売上高は2,876百万円(前期比12.0%増)、セグメント利益は247百万円(同43.5%増)となりました。



## 情報機器事業

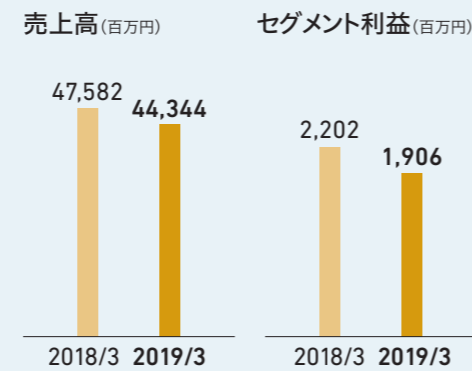


**事業内容**

パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など

**2019年3月期概況**

情報機器事業は、家電販売ビジネスでは販売先の納期調整の影響を受け、法人向けパソコン販売は低調に推移しました。これらの結果、売上高は44,344百万円(前期比6.8%減)、セグメント利益は1,906百万円(同13.4%減)となりました。



## その他事業



**事業内容**

エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など

**2019年3月期概況**

その他事業は、ゲーム機器販売が好調に推移し、パソコンおよび周辺機器のリサイクルビジネスも堅調でした。これらの結果、売上高は19,959百万円(前期比47.6%増)、セグメント利益は490百万円(同59.0%増)となりました。

